

# 芳年

激動の時代を生きた鬼才浮世絵師



2021年10月9日(土)▶11月23日(火祝)

休館日◎月曜日

開館時間◎午前9時▶午後5時(入場は午後4時30分まで)

観覧料◎一般・大学生800(600)円◎小・中・高生400(300)円

- \* ( )内は前売または20名以上の団体料金。
- \* チケット発売所(前売券は10月8日まで)。「前売・当日券」チケットびあ(Pコード共通685-793)、セブンイレブン、ファミリーマート、豊橋市美術館。[前売券のみ]豊橋市二川宿本陣資料館、豊橋市役所じょうほうひろば。
- \* 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方と介助者は無料。
- \* 「ほの国子どもパスポート」(東三河地域在住または在学者対象)をお持ちの小・中学生は無料。
- \* 豊橋市在住の70歳以上の方は割引料金(400円)。
- \* 「市電1日乗車券」提示により団体料金で入場可(他の割引との併用不可)。

主催◎豊橋市美術館・中日新聞社 / 企画協力◎(株)アートワン / 協力◎豊橋鉄道(株)

- 写真上から◎《誠忠義心伝 十二 矢多五郎右工門藤原助武》明治元年(1868)  
◎《風俗三十二相 かゆさう 嘉永年間 かこみもの風ぞく》明治21年(1888)  
◎《藤原保昌月下弄笛図》明治16年(1883)  
◎《芳年武者死類 源牛若丸 熊坂長範》明治16年(1883) \*すべて部分





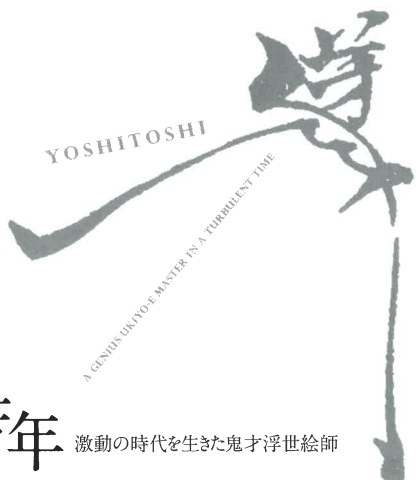
写真左から◎《羅城門渡辺綱鬼胸斬之図》明治21年(1888) ◎《魁題百撰相 駒木根八兵衛》明治元年(1868) ◎《新形三十六怪撰 おもみつら》明治25年(1892) \*すべて部分

芳年の浮世絵に登場する人物はよく飛び、またよくポーズを決めます。身体の躍動と緊張感みなぎる、アクション映画の途中で静止ボタンを押したかのような画面を前にしたとき、思わず「カッコいい」とつぶやかずにはられないでしょう。そこに、翻る衣装やスピード感を表す線、練られた構図などの要素が相まって、現在の劇画や漫画とも比較されるような作風が展開されました。

「最後の浮世絵師」とも称される月岡芳年は、12歳で武者絵の名手歌川国芳に入門、最初は武者絵を中心に美人画・戯画など師の作風に倣った作品を発表します。明治維新时期、戊辰戦争への取材を通して、武者絵はリアルな戦闘画へと

変化していきます。この頃の「血みどろ絵」「無残絵」の芳年というイメージが後世まで強く持たれてきましたが、大蘇芳年と名乗りだした頃からは、新聞挿絵や西南戦争に取材した作品、歴史画・風俗画の大ヒットにより、人気浮世絵師への階段を一気に駆け上がることとなります。晩年のおよそ10年間は、武者絵や物語絵の可能性にこだわった、「激動の時代を生きた鬼才浮世絵師」と呼ぶにふさわしい名作を世に送り出しました。

本展では、芳年のコレクションとして質・量ともに世界屈指といえる西井正氣氏の所蔵品の中から260点に及ぶ作品を厳選し、芳年の画業の全貌を紹介します。



◎ 記念講演会「芳年 魅力のからくり」

神谷 浩(徳川美術館副館長兼学芸部長)  
10月23日(土) 午後2時～ 当館講義室(抽選40名)  
\*10月11日までに当館HPから申込み

◎ イブニングトーク

当館学芸員  
11月6日(土)、21日(日) 午後5時30分～ 当館展示室(抽選各20名)  
\*各10月28日、11月11日までに当館HPから申込み  
\*要入館料

◎ 関連コレクション展

9月4日(土)～11月23日(火祝) 当館2階第2・3常設展示室  
「国芳・芳年が描いた東海道」「物語と絵画」

【展示・イベントの開催状況につきましては、当館HPをご覧ください】



**豊橋市美術博物館**  
豊橋市今橋町3-1(豊橋公園内) TEL.0532-51-2882

